

令和4年度60回生 授業概要

科目名	精神看護学概論	分野/教育内容	専門分野/精神看護学	
開講年次・時期	1 年後期 令和 4 年 10 月 17 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 精神看護学概論は小成先生（9 回/18 時間） と専任教員（6 回/12 時間）を合わせて 1 単位	
担当講師名	小成 祐介 先生	所属・役職	特定非営利活動法人 宮古圏域障がい者 福祉推進 ネット レインボーネット 相談支援専門員	
		資格・免許	WRAP ファシリテーター・精神科認定看護師	
授業の概要	精神の発達と機能、社会環境が精神の健康に及ぼす影響、精神疾患や精神障害をもつ対象を取り巻く社会の変化と制度を知り、精神看護の意義や役割を学ぶ。			
到達目標	・精神医療の歴史、法制度について理解できる。 ・精神科病院における看護師の役割について倫理観、人権の視点を含めて理解できる。 ・精神障がい者の地域生活を支える保健・医療・福祉について理解できる。 ・精神看護における援助関係構築の意義や、回復の意味を理解できる。			
成績評価の方法	・終講試験 配点 60 点/100 点 ※専任教員の終講試験 40 点と合わせた 100 点満点で 6 割に満たない場合は再試験			
使用テキスト	医学書院 精神看護の基礎 精神看護学 1 第 6 版 第 3 刷 医学書院 精神看護の展開 精神看護学 2 第 6 版 第 3 刷			
授業回数	授業概要(主な学習内容)		教科書の該当箇所	授業形態
第 1 回	精神保健医療福祉の変遷と看護		1 基礎 第 7 章 p 298～335	講義
第 2 ・ 3 回	精神障害と法制度 精神保健医療福祉対策と動向 看護の倫理と人権擁護		1 基礎 第 7 章 p 335～369	講義
第 4 回	精神・保健・医療福祉に関する社会資源		2 展開 第 10 章 p 116～150	講義
第 5 ・ 6 回	精神障害を持つ人の病の体験と精神看護 精神看護の対象の理解（援助関係の構築） ・信頼関係を築くことの意味 ・信頼関係の基礎づくり ・患者看護師関係の発展と終結 ・プロセスレコードの活用		2 展開 第 8 章 p 2 ～68	講義 演習
第 7 ・ 8 回	精神看護の対象の支援 ・セルフケアへの援助 ・生きる力や強さに着目した援助（リカバリ、ストレン グス、レジリエンス、エンパワメント）		2 展開 第 9 章 p 70～78 第 11 章 p 240～247	講義 演習
第 9 回	災害時の地域における精神保健医療活動		2 展開 第 15 章 p 374～388	講義
履修上の留意点	・各自が積極的に授業に参加する ・シラバスに示しているテキストの範囲を、各講義前までに読んでおくこと			

科目名	精神看護学概論	分野/教育内容	専門分野/精神看護学
開講年次・時期	1 年後期 令和 4 年 8 月 19 日	単位数/時間	1 単位/30 時間 小成講師担当；18 時間 石崎担当：12 時間
担当講師名	石崎 美由紀	所属・役職	専任教員
		資格・免許	看護師免許
授業の概要	精神の健康とは何かについて考える。その中で、人間の成長過程における精神の健康について学ぶ。また危機への介入やストレス対処について学び、実践に活用できる知識を習得する。		
到達目標	1. こころとは何か、精神の健康とは何かについて考えることができる 2. 自身のメンタルヘルスに関心をもち、ストレスへの対処法を考えることができる		
事前学習内容	特に指示なし		
成績評価の方法	小成講師：終講試験 60 点分 石 崎：終講試験 40 点分		
使用テキスト	精神看護の基礎 精神看護学 1 第 6 版 医学書院 精神看護の展開 精神看護学 2 第 6 版 医学書院		
授業回数	授業概要(主な学習内容)		授業形態
第 1 回	精神の健康	1 基礎－第 1 章	講義
第 2 回	ライフサイクルと精神の健康（1）		講義
第 3 回	ライフサイクルと精神の健康（2）		講義
第 4 回	危機への反応と回避するための要因	1 基礎－第 2 章	講義
第 5 回	ストレスへの対処（コーピング）	1 基礎－第 2 章	講義
第 6 回	精神の健康とマネジメント	1 基礎－第 2 章 2 展開－第 16 章	講義
履修上の留意点	疑問点はそのままにせず、積極的に知識の習得に努めること		